

# 千代中の学びの器

《学校だより》 第2号  
 令和8年5月18日発行  
 小田原市立千代中学校  
 校長 北川 誠

## 千代中の「学び」を支える取り組み



校内には、今日も元気なあいさつの声が響いています。生徒たちは「千代中 HERO」を目標に掲げ、仲間とともに充実した学校生活を送っています。授業では、毎時間示される学習目標を意識しながら、一人ひとりが前向きに学習に取り組んでいます。ICT 機器の活用やグループでの話し合い活動なども積極的に取り入れられ、主体的に学ぶ姿が多く見られます。一方で、学年が上がるにつれて学習内容はより高度になります。学校での授業だけで十分に理解・定着させることは難しく、家庭学習の積み重ねが大切になります。そこで今回は、本校が進めている「学ぶ力」の育成について、お知らせします。



### Q 「千代中学びプラン」とは？

A 「千代中学びプラン」は、各教科の年間学習計画をまとめたものです。

年度の初めに作成し、「いつ・どのような内容を学ぶのか」「授業を通して何ができるようになるのか」を確認できるようになっています。年間を通した学習の流れが分かることで、生徒自身が見通しをもって学習に取り組むことができます。

### Q 「学びプラン」は持ち歩きにくく、使いづらい・・・卒業生の意見

A 現在は、生徒用パソコンにデータを保存し、必要な時にいつでも確認できるようにしています。

「今はどの内容を学習しているのかな？」と思った時に、すぐに確認できる環境を整えています。

また、授業内でも確認する場面を設けるほか、学校ホームページにも掲載し、ご家庭からも閲覧できるようにしていきます。

### Q 授業ごとに配付される「単元計画表」は何のためですか？

A 「単元計画表」は、学びプランをさらに詳しくしたものです。

単元ごとに、どのような内容を学ぶのか いつテストを行うのか、どのような力を身に付けるのか、が分かるようになっています。生徒が学習の見通しをもち、自分の成長を確認しながら学べるよう工夫しています。



### Q なぜ定期テストが年2回なのですか？

A 千代中学校では、学習指導要領の考え方を踏まえ、「単元ごとの学び」を重視しています。

現在、定期テストと成績の時期は次のようになっています。

#### 【1・2年生】

定期テスト	成績(評価・評定)
9月(5科)	10月(9科)
2月(5科)	
☆2月実力テスト	3月(9科)

#### 【3年生】

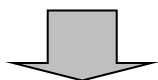
定期テスト	成績(評価・評定)
6月(5科)	7月(5科)
	10月(9科)
11月(5科)	12月(9科)→進路決定に使用
☆1月実力テスト	3月(9科)

※5教科…国語・社会・数学・理科・英語

※9教科…5教科＋音楽・美術・保健体育・技術家庭

☆実力テストでは、県内の受験者を対象とした業者テストを活用し、現在の学力を把握しています。

平成26年度以降、国の方針として「評価は単元ごとの学習のまとまりを意識して行う」ことが示されました。



授業内容の定着を細かく確認するために「単元テスト」を実施し、定期テストを年2回としています。



**Q 他校より定期テストが少なく、学習に遅れが出ませんか？**

A 単元テストには、学習内容を短い期間で確認できるという大きな利点があります。

- ・理解できている部分と苦手な部分を把握しやすい。 ・つまずきに早く気づき、復習につなげやすい。
- ・学習が苦手な生徒でも取り組みやすい。 ・日頃から学習する習慣が身に付きやすい。といった効果が期待できます。また、教科ごとに別日で実施されるため、学習内容を整理しながらテスト勉強を進めることができます。

教員にとっても、単元テストの結果を授業改善に生かせるというメリットがあります。理解が十分でない内容については、改めて授業で確認や補充を行うこともできます。学校評価アンケートでも、多くの生徒から肯定的な意見が寄せられています。

**Q 単元テストにも課題はありますか？**

A 授業後すぐに行う単元テストは、その時点での理解度を確認するには効果的です。しかし、人は時間が経つと学習した内容を忘れてしまうことがあります。そのため、授業後の家庭学習や繰り返しの復習がとても重要です。

年2回の定期テストは、学習内容を振り返る良い機会にもなっています。生徒が自ら学習する習慣を身に付けられるよう、ご家庭でも声掛けや見守りをお願いいたします。

**Q 他の学校でも単元テストは増えているのですか？**

A 全国的にも、従来型の定期テスト中心の方法を見直し、単元テストを取り入れる学校が増えています。

国の方針に沿って、学習のまとまりごとに評価を行う流れは、今後さらに広がっていくと考えられます。

一方で、テストの準備や採点など、教員側の負担が増える面もあり、新しい仕組みを導入するためには十分な準備が必要です。

本校でも、生徒にとってよりよい学びとなるよう、今後も改善を重ねてまいります。素直で明るい千代中の子どもたちが、自分らしさを発揮しながら、これからの社会をたくましく生き抜く力を育めるよう、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

#### 〈参考〉従来の定期テストで見られた課題

- ・試験範囲が広くなりやすく、直前だけの勉強になりがち
- ・範囲が細かく区切れず、学習計画を立てにくい
- ・一時的に覚えても、時間が経つと忘れてしまいやすい
- ・勉強が苦手な生徒ほど負担感が大きくなりやすい

単元テストを取り入れることで、日頃の学習を大切にする習慣づくりにつなげています。

